「マーケットの浅読み・と読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫

7

♦ No.0807

24/09/18

【 今年のドル/円変動幅は22円強、過去平均を大きく上回る 】

ドル/円相場は 16 日の東京タイム、昨年 7 月 28 日以来となる 140 円割れを示現した。すでに一足早く、1 月 2 日に記録した今年のドル最安値を更新。6 ヵ月かけて 162 円まで上昇したドル高・円安の流れを、わずか 2 ヵ月半で「無いこと」に。フィボナッチでいうところの「全戻し」を達成しているわけだが、ドルの下値リスクは依然として強いままだ。

そんなドルの下値メドについては、当レターでも過去に何度かレポートしているものの、想定よりもドルの下落スピードが速い。ここで仕切り直しをし、改めて報じてみたいと思う。

◎今年は「ドル最強に限りなく近い強気相場」、下値メドは 136 円程度か

改めて指摘するまでもないように思うが、今年のドル/円相場はかなりの大相場だ。当レターで定期的に取り上げている年間変動幅、そして年間変動率はというと前者が 22.38 円(139.58-161.96 円)、後者は15.88%となっている。(9月16日現在、詳細は下表参照)

うち前者の変動幅は、年明けから 9 ヵ月経たない現段階ですでに過去の平均変動を 4 円近く上回っているだけでなく、「年明けから 20 円上昇したのち 20 円下落する」——という展開をたどっているのだから、実際のところは往復で「40 円超」もの変動と言えよう。それでも、さすがに「変動相場制以降最高規模」だった 2022 年には及ばないが、データに表れない部分を含めると、早くも昨年(変動幅 24.70 円)を大きく凌駕する変動をたどっていると言って間違いなさそうだ。例年とは異なる意味で、今年はすでに歴史的な大変動を達成していると言えるのかもしれない。

しかしながら、後者の変動率はというと、ここまで 15.88%と決して小さくないものの、それでも平均変動には逆に 2%以上も足りない状況だ。こちらを重視する考えからすると、若干の物足りなさがあると言っても間違いない。

では、過去の平均変動率 18.37%、あるいはそれとかなり近い昨年の同率 18.85%と同じぐらいの変動を今年たどると仮定したした場合、果たしてドル/円相場の下値メドはどの程度となるのだろうか。ドルの下値が 135 円だと今年の変動率は 19%を超えることになり少しオーバー。反対に 137 円では 17%台で足りない。つまり、飽くまでも、過去の平均変動率と同等の変動を今年たどるとすれば、という条件付きで考えた場合にドルは年内に 136 円レベルまで値を下げても不思議はないようだ。ちなみに、その場合に今年のドル変動幅はおよそ「26 円」となる。

一方、それとは別に8月21日付けの当レターにも再掲載したが、年明け早々に報じた「2024年のドル/円見通し」における「ドル強気相場」と「ドル最強相場」の年間予想レンジは次のとおりだった。

◎ドル/円は今年のオープンレート 140.90 円を起点として、

(1);「ドル強気相場」;ドル高方向に 13%変動、

ドル安方向に 5%変動

- ードル高値 159.22 円、ドル安値 133.86 円

(2):「ドル最強相場」:ドル高方向に 16%変動、

ドル安方向に 2%変動

ーードル高値 163.44 円、ドル安値 138.08 円

今年のドル高値が7月3日の161.96円だということは「ほぼ確定」だと考えると、上記を参考に今年のドル/円は「ドル最強に限りなく近い強気相場」だったと考えられる。その場合のドル下値メド、つまるところ今年の年間ドル最安値予想は133.86円と138.08円のあいだとなり、さらに細かく計算すると実は136円半ばあたりとなる。いずれにしろ、ドルはいま一段の下値余地が残っていると公算が大きい。とは言え、仮にこの考え方が正しいとすれば、先日一時的に140円を割り込むような環境下、「年内」に限るとドルの下落もすでに9合目、かなり良いところまで達している気もしないではない。(了)

	ドルプ円の年間変動率						
	OPEN	LOW	HJGH	CLOSE	変動幅	変動率	
2010	92.75	80.23	94.99	81.13	14.76	15.91	
2011	81.14	75.57	85.53	78.90	9.98	12.28	
2012	77.08	76.02	86.79	86.74	10.77	13.98	
2013	88.51	88.54	105.41	105.28	18.87	21.79	
2014	105.33	100.76	121.84	119.58	21.08	20.01	
2015	119.89	115.85	125.88	120.20	10.01	8.35	
2018	120.32	99.00	121.69	117.03	22.59	18.88	
2017	116.75	107.32	118.60	112.59	11.28	9.56	
2018	112.65	104.64	114.55	109.50	9.91	8.80	
2019	109.80	104.10	112.40	118.65	8.30	7.58	
2020	108.65	101.19	112.22	103.30	11.03	10.15	
2021	103.10	102.59	115.22	115.12	12.63	12.25	
2022	115.15	113.47	151.94	131.12	38.47	33.41	
2023	131.00	127.22	151.92	141.02	24.70	18.85	
2024	140.90	139.58	181.98		22.38	15.88	
平均					18.41	18.37	
*炷:3	変動率は「変動	幅/OPEN」					
	2024年409/18キャホギにあた徳田川 耳降には会ます						

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

 $\diamond \diamond \diamond$

Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved

